

低入札価格調査の実施概要

工事名：河南二期農業水利事業 中山揚水機場建屋補修工事

調査の対象となった業者名：株式会社平山建築

調査項目	内 容
(ア) その価格により入札をした理由	直接工事費は、手持ち工事の状況を勘案した上で自社労務者での対応に併せて、建築工事各専門業者より見積徴取を行うとともに各業者と打合せを実施し、協力を受けられることを確認して計上。 また、共通仮設費は工事施工箇所が自社事業所の近傍（2.9km）のため、現場事務所等の施設費が削減可能と判断。 現場管理費、一般管理費については、自社過年度実績額（共通費）を勘案し計上。 上記のことから、安定した現場運営と品質の確保を実現できると判断し、入札額により入札している。
(イ) 契約対象工事付近における手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(ウ) 契約対象工事に関連する手持工事の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(エ) 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との地理的条件	契約工事箇所と入札者の事業所が 2.9km と近傍。（入札者事業所を現場事務所にするなど、契約対象工事の共通仮設費、現場管理費の縮減に寄与している。）
(オ) 手持資材の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(カ) 資材購入先及び購入先と入札者との関係	各資材業者より材工共の見積を徴取し、適切な金額を計上している。各業者と入札者との取引実績は、20 から 25 年である。
(キ) 手持機械数の状況	該当なし（契約対象工事の工事費の縮減に寄与するものがない。）
(ク) 労務者の具体的な供給見通し	自社労務者及び各下請業者に材工共での発注・施工となる。各専門業者の材工共の見積を積み上げ、直接工事費に計上。労務者は各専門工事別・職種別に配置し、履行に必要な労務者総員数として 651 人を計画している。 入札者と各業者の取引実績は 10 年から 25 年である。
(ケ) 経営内容	東日本建設業保証会社株式会社宮城支店に確認したところ、当該入札者の契約保証の受付については風評等もなく通常の扱いで手続きしている（経営内容に問題がないという判断をしている）旨の回答を得た。
(コ) 建設副産物の搬出他	建設副産物は、廃プラスチック、木くずに区分し、受け入れ会社に搬出する計画。処理費用は直接工事費に計上しており、建設副産物を適切に処分する計画である。
上記(ア)～(コ)までの事情聴取した結果についての調査検討	入札者は、自社労務者での対応及び各専門業者より、材工共の見積徴取及び打合せを実施し、直接工事費は施工可能な金額を計上していると認められる。 共通仮設費は率算定及び積み上げ計上、現場管理費、一般管理費等は過年度に受注した同種の公共建築工事 11 件による自社実績を勘案し、安定した現場運営と品質の確保を行うとしていることから必要額を適切に計上していると認められる。 特に共通仮設費及び現場管理費は、会社としての必要額を計上していることを低入札価格調査ヒアリングの場で直接確認している。 以上から、これまでの実績により培った技術と施工能力に基づき意欲を持って入札していること、必要額を計上していることからの確かな施工、現場の安全管理、下請けへの支払い、必要な保険等の加入が行われ、工事を完成できると認められる。